



Music Program TOKYO

タルティーニとガーシュウィン、バロックと近代が交差する
Jazz meets Classic!

スーパー・ジャズピアニスト小曾根真と、
ミラクル・トランペッター、エリック・ミヤシロが、
ジャンルと時空を越えた華麗なるステージを繰り広げる!

“Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

Makoto Ozone & Eric Miyashiro “Jazz meets Classic”
with Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

ピアノ：小曾根 真 Piano: Makoto Ozone
トランペット：エリック・ミヤシロ Trumpet: Eric Miyashiro
指揮：エドウィン・アウトウォーター※ Conductor: Edwin Outwater
管弦楽：東京都交響楽団※ Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra
※第1部のみ Part1 only

第1部 タルティーニ：トランペット協奏曲 ニ長調より 第1楽章、第3楽章
Part1 Tartini: Trumpet Concerto in D major, 1st and 3rd movements

ガーシュウィン：ピアノ協奏曲 ヘ調
Gershwin: Concerto in F

第2部 ジャズ・セッション 小曾根 真×エリック・ミヤシロ
Part2 Jazz session Makoto Ozone × Eric Miyashiro



2018 (平成30年) **9.29** (土) 17:00 開演
(16:20 開場)

東京文化会館
大ホール
Tokyo Bunka Kaikan
Main Hall

9.30 (日)
15:00 開演 (14:20 開場)

オリンパスホール八王子
Olympus Hall Hachioji

料金(共通) S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 25歳以下1,000円 ※要証明書
4月13日(金)発売

主催：東京都/東京文化会館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
Organizers: Tokyo Metropolitan Government, Tokyo Bunka Kaikan/Arts Council Tokyo
(Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)

共催：公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団
(オリンパスホール八王子公演)
Cosponsored by Hachioji College Community &
Culture Pureau Foundation (9.30)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
文化庁 独立行政法人日本芸術文化振興会

東京文化会館
Tokyo Bunka Kaikan

ARTS
COUNCIL
TOKYO

TokyoTokyo
FESTIVAL

©大杉隼平

小曾根真



エリック・ミヤシロ



©大杉隼平

ジャズとクラシックとにかかわらず、小曾根真がある楽曲を演奏すると、不思議なことにどんな難曲も難曲に聴こえない。それどころか、演奏している小曾根真の音楽世界に導かれ、いつのまにか彼の音宇宙の住人となって寛(くつろ)ぎ、次の瞬間には彼が導き出す音世界を思いつき楽しんでいる。それだけ小曾根の音楽には垣根がないのだ。彼はもしかしたらモーツァルトの生まれ変わりではないか。あの時代にジャズやポップスがあったら、モーツァルトは喜々として取り組んだはずだ。ジャンルなどにはお構いなく、自分が演奏したいものだけに関心を払い、スタイルや第三者の声などにとらわれることなくジャズとクラシックを分け隔てなく演奏する小曾根の姿に、かつてスコダ、デームスとともにウィーンの三羽鳥と称えられたフリードリッヒ・グルダを懐かしく思い浮かべる人も多いのではないだろうか。

“Jazz meets Classic”で小曾根が共演した演奏家はここ3年だけでも、昨年のピーター・アースキンをはじめゴンサロ・ルバルカバ、ブランフォード・マルサリスら超絶技巧を誇る一騎当千の名手ばかり。いつの年も唾然とさせられる名手の誇る技を、今年も思う存分堪能できるかと思うと胸がときめく。小曾根真が指名した今年の共演者は、何とトランペット奏者のエリック・ミヤシロだ。

ハワイ生まれのエリック・ミヤシロは1989年来日以来、日本で活動する道を選んだ。エリックといえばハイノート・ヒッターが通り相場。1970~80年代に一世を風靡した故メイナード・ファーガソン以来、トランペットのハイノートはジャズ演奏の最高の華となった。エリックはファーガソン・バンドの一員として活躍した経験ももつ。1977年の大ヒット「ロッキーのテーマ」で世界を席卷したファーガソンのハイノートをエリックは超えた。今日、ハイノート・ヒッターとして彼の右に出る者はいない。今やトランペットもフリーゲルホーンもエリック・ミヤシロ・モデルが世に出るほどの第一人者。小曾根真のビッグバンド“NO NAME HORSES”や、95年以来彼自身がわが国の一流演奏家を集めて結成した自身のEMバンドでの活躍が注目の的だ。この日、彼が演奏するのは「悪魔のトリル」で名高いバロック時代のイタリアの作曲家タルティーニの作品。以前天才トランペッターとして注目を浴び、来日演奏でファンを驚かせたスペインのルベン・シメオの十八番曲でもあった。

他方、小曾根真が今回演奏する曲は「ラプソディ・イン・ブルー」以上に傑作の呼び声も高いガーシュウインの「ヘ調のコンチェルト」。ガーシュウインが27歳の1925年に作曲したこのピアノ協奏曲は、ラヴェル、プロコフィエフ、ヒナステラ、ショスタコーヴィチ等々近代が生んだピアノ協奏曲の秀作の一つ。ジャズ界の盲目のピアニスト、マーカス・ロバーツが2005年に小澤征爾の要請でサイトウ・キネン・オーケストラとこの曲を演奏して話題となったこともあり、今回小曾根がどんな快演を披露してくれるかとワクワクする。後半のジャズのセッションはむしろ小曾根とエリックにとっては自分の庭に帰ってくるようなもの。最上のホットな熱演が繰り広げられるだろう。エドウィン・アウトウォーター指揮の東京都交響楽団との共演で、今年も例年にも増してスリリングな“Jazz meets Classic”が展開されるのは間違いない。小曾根真とエリック・ミヤシロの名人芸と、音楽を愛してやまないホットな人間性を思う存分楽しみたい。

悠 雅彦(音楽評論家)

小曾根 真ワークショップ 「自分で見つける音楽Vol.6」

9月24日(月・休) 15:00開講 会場/東京文化会館 小ホール
聴講料/全席自由 1,500円 25歳以下 1,000円 ※要証明書
発売日/4月13日(金) ・都営ガイドでのチケット取扱いはありません。



©青柳 聡

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

チケットのお申込み

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 www.t-bunka.jp

都営ガイド 0570-056-057 www.tms.or.jp (発売初日は電話・Webのみ受付。窓口受付: 4/18(水)~)

イープラス http://eplus.jp/t-bunka/ ローソンチケット 0570-000-407 l-tike.com

チケットぴあ 0570-02-9999 t.pia.jp

※25歳以下は東京文化会館チケットサービス、八王子のみ取扱い。 ※やむを得ない事情により、内容を変更又は中止する場合がございますので予めご了承ください。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※9/29のみ託児サービス(要予約・有料・定員あり・9/21(金)17時締切)があります。イベント託児マザーズ: 0120-788-222 ※東京文化会館大ホールには、エレベーター、エスカレーターはございません。予めご了承ください。

9/30公演のみ

●販売窓口 [9:00~19:00 ※発売初日10:00~] オリジナルホール八王子 042-655-0809
いちようホール 042-621-3001 南大沢文化会館 042-679-2202 学園都市センター 042-646-5611

●電話予約 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 042-621-3005 (9:00~17:00 ※発売初日13:00~)

●インターネット予約 www.hachiojibunka.or.jp (※発売初日13:00~)

お問合せ 東京文化会館 事業係 03-3828-2111(代表) www.t-bunka.jp Twitter: @tbunka_official

